

## 高度医療人 研修センター開設

### 【高度医療人研修センターとは】

卒業後の生涯教育の重要性が叫ばれるものの、市中病院独自で研修できることには限りがあります。大学病院の持つ教育病院としての機能を十分に利用することが有効です。そこで、生涯にわたり研鑽を積む志の高い医師に研修の機会を提供するのが新設した「高度医療人研修センター」です。当センターは、地方自治体等と連携しながら事業を行うため、山形県寄附講座「地域医療システム」の中に開設いたしました。

### 【利用の具体例】

1. 専門医資格の取得：多くの専門医資格取得の条件として、学会認定研修施設での診療経験があります。専門医になりたくても、勤務先が研修施設として認定されていなければ受験資格さえありません。山形大学医学部附属病院は、現在55の専門医・認定医資格取得のための研修施設として認定されており、ほぼ全ての専門医・認定医資格取得のための研修が可能です。当センターでは、地域の病院で勤務する医師の希望に応じて附属病院の関連する診療科との調整を行い、医員として給与を得ながら、研修中の経済的な問題を心配することなくより専門的な研修を受ける機会を提供します。

2. 学位の取得：博士号取得のための相談窓口として、希望する研究に関連する講座の紹介、調整も行います。昨今の若手医師は博士号よりも専門医指向が強いと言われていますが、実際には、より高度な医療を地域に提供するために、大学院で臨床研究を行い、自分の医師としての能力を高めたというニーズが非常に高いことがわかってきました。山形大学大学院には、市中病院に勤務しながらでも大学院に入学できる制度もあり、この制度を有効に利用したキャリア支援を行います。

高度医療人研修センター長  
地域医療システム講座（山形県寄附講座）  
教授総合医学教育センター

佐藤 慎哉

3. 市中病院との連携生涯教育：医師が比較的規模の小さな医療機関への就職をためらう理由の一つに、「十分な生涯教育を受ける機会が乏しく医学の進歩について行けないのではないか？」という不安があげられると思います。このような場合に、例えば「3年毎に希望する診療科で数ヶ月間大病院での研修を受けられる（内地留学）」といった制度をつくることも有効ではないでしょうか。当センターは、市中病院と連携して「病院オリジナルの循環型生涯教育システム」の構築を支援いたします。

### 地域医療機関



- 専門医として復帰
- 研究マインドをもった高度医療人として、臨床に従事
- リフレッシュして職場復帰

### 山形大学医学部



○専門医・認定医の認定訓練施設  
(2010年10月現在、55の認定済)

○大学院医学系研究科  
・医学専攻  
・生命環境医科学専攻

○新しい診療技術の獲得



### 高度医療人 研修センター

- 1) 専門医・認定医取得
- 2) 博士号取得
- 3) 市中病院と大学病院の  
連携生涯教育

本事業に関心ある方は、高度医療人研修センターホームページ  
([http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Chiki\\_iryu/koudo/koudo.html](http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Chiki_iryu/koudo/koudo.html)) を  
ご覧下さい。